平成 25 年７月３日

各 位

会 社 名 **株式会社 新日本科学**
代表者名 代表取締役社長 永田 良一
（コード番号：2395 東証第一部）
問合せ先 代表取締役副社長 関 利彦
（TEL：03-5565-6216）

株式会社日本網膜研究所との業務提携契約の締結に関するお知らせ

－iPS 細胞を用いた加齢黄斑変性治療法の確立を支援する－

当社は、株式会社日本網膜研究所との間において、平成 25 年７月３日付で、業務提携契約を締結しましたので、お知らせいたします。

１．業務提携の理由

株式会社新日本科学（本社：東京都中央区、社長：永田良一、以下「新日本科学」）と、株式会社日本網膜研究所（本社：福岡県福岡市、社長：鍵本忠尚、以下「日本網膜研究所」）とは、日本網膜研究所が目指す網膜疾患を適応症とした人工多能性幹細胞(induced pluripotent stem cell、以下「iPS 細胞」）を利用した再生医療の実用化に向けた取組みに対して、その安全性を担保する非臨床分野において、新日本科学が日本網膜研究所から独占的に受注し、早期に臨床応用を実現すべく協力する主旨で業務提携契約を締結いたしました。

２．業務提携の内容

日本網膜研究所は、独立行政法人理化学研究所（以下「理化学研究所」）の認定ベンチャーで、理化学研究所が発明した iPS 細胞を再生医療に応用する技術に係る特許の実施許諾に基づき、iPS 細胞から分化誘導した網膜色素上皮細胞移植による加齢黄斑変性症の新たな治療法の開発を目指しています。将来的には、当該治療法の開発を端緒として、視細胞移植、網膜再生薬、検査法開発等により、現代の難治性網膜疾患を治療可能とすることを目指しています。

これらの新たな治療を確立する目標を実現するためには、iPS 由来細胞を実験動物に移植し、その安全性などを調べていくことが必要です。新日本科学は、非臨床分野で持つ豊富な経験・ノウハウを活かし、網膜の再生医療技術や眼検査法などの研究開発を含め、日本網膜研究所が目指す新たな治療法の開発に貢献してまいります。

３．業務提携の相手先の概要（平成 25 年６月 30 日現在）

(1)名　　称		株式会社日本網膜研究所
(2)所　在　地		福岡県福岡市東区
(3)代表者の役職・氏名		代表取締役社長　鍵本 忠尚
(4)事　業　内　容		再生医療および細胞治療に関する技術の研究および開発
(5)資　本　金		951,000 千円
(6)設　立　年　月　日		平成 23 年 2 月 24 日
(7)発　行　株　式　数		319,000 株
(8)当事会社間の関係		
	資　本　関　係	当社は当該会社の株式 3,000 株(発行済株式の１％未満)を所有しております。
	人　的　関　係	当社と当該会社との間には、記載すべき人的関係はありません。また、当社の関係者および関係会社と当該会社の関係者の間には、特筆すべき人的関係はありません。
	取　引　関　係	当社と当該会社との間には、記載すべき取引関係はありません。また、当社の関係者および関係会社と当該会社の関係者の間には、特筆すべき取引関係はありません。
	関連当事者への該当状況	当該会社は、当社の関連当事者には該当しません。また、当該会社の関係者は、当社の関連当事者には該当しません。
(9)当該会社の最近３年間の連結経営成績および連結財政状況		
業務提携先が非上場会社であるため、非開示としております。		

４．日　程

業務提携契約の締結日	平成 25 年７月３日
業　務　開　始　日	平成 25 年８月 以降（予定）

５．今後の見通し

今回の業務提携による当社の今後の業績に与える影響につきましては、今後精査し、必要に応じて、速やかに適時開示にてお知らせいたします。現時点では、今期業績に及ぼす影響は軽微であると見込んでおります。

以 上